

2月の行事予定

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3 朝会 さくら組と5年生の 交流&給食 委員会	4 安全指導	5 4時間授業	6 計算	7 漢字	8
9	10 郷土歴史館見学(3年) さくら組と交流(1年)	11 建国記念の日	12 漢字 クラブ体験	13 計算	14 5時間授業 算数検定(希望者)	15 幼稚園体験入学
16	17 朝会 新1年生保護者会	18 集会 麻布保育園との交流(2年)	19 漢字 キッズアスレチック(3,4年)	20 計算 木育(5年)	21	22
23 天皇誕生日	24 振替休日	25 音楽朝会 小鹿野歌舞伎(3年)	26 漢字	27 計算	28	29

今月の避難訓練は、予告なしで行います。

2月の生活目標 「きもちのよい挨拶をしよう」

- ・話す人の顔を見て、挨拶をしよう
- ・「です、ます」まで、はっきりと伝えよう



南山小学校 学校だより

2月号

令和2年1月31日
港区立南山小学校
校長 難波 明夫

感謝の気持ちを忘れずに

副校長

大寒を過ぎ、今月は節分、そして立春を迎えます。数えれば今年度、子供たちの登校日数も残すところ1年生から5年生が37日、卒業式を迎える6年生が36日となりました。それぞれ学年のまとめをしっかりと行い、進級進学につながるよう指導をしております。

【卒業と進級に向けて】

いよいよ6年生は、卒業へのカウントダウンが始まっています。最高学年として学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり、「南山小の代表」として期待に応える活躍をしてくれた6年生。その6年生からは、学習に取り組む姿や休み時間に仲間と和やかに関わる姿、集会などでの下学年へのやさしい心遣いなど、残り少ない小学校生活を大切に過ごそうとしている様子が、随所に見受けられます。そして今、その6年生の姿を引き継ごうとしている5年生にも、次の学校のリーダーとしての期待に応えようという意欲が感じられます。各学年の子供たちにとってもこの2か月は、学年のまとめ、進級の準備という大切な期間です。計画を立て、意欲的に取り組めるようにしたいものです。

【地域の中で子供は育つ】

1月12日に麻布いきいきプラザで行われた麻布宮村町会の餅つき大会に私も参加しました。早朝より準備があり、午前10時より餅つきが始まりました。そうした中、地域の方々に交じって子供がお餅をつく姿がありました。お餅をつく体験は、昨今なかなかできなくなっているだけに貴重な体験であり、そうした体験を身近でできることはとてもありがたいことです。つきたての餅のやわらかさは、食べると格別です。

2月3日は節分です。麻布十番商店街では豆まきが行われます。こうした地域の行事に子供たちを積極的に参加させたいものです。地域の行事に参加することは、地域の一員としての自覚を高め、人と人とのつながりを強くしていきます。

楽しい地域の行事を支えているのは、地域の皆様です。行事を楽しむ気持ちと共に、行事を盛り立てていこうとする地域の皆様の熱意と努力に敬意を表します。今後ともよろしく願いいたします。

2月10日より育児休業を取得していましたが桑島はるか教諭が、特別支援教室の担当として復帰します。福地留奈教諭は、2月7日をもって任用終了となります。

席書会

国語担当



席書会当日は、まず、朝の時間に全校児童が体育館に集まり、始めの会を行いました。校長先生のお話の後、各学年の代表児童 1 名が書き初めのめあてを皆の前で発表しました。

その後、1・2 年は硬筆書初めを各教室で、3 年生以上は毛筆書初めを体育館で行いました。



皆、真剣な表情で紙に向き合い、自分のめあてをもって、取り組んでいました。



書き初めの学習や席書会を通して、集中力だけでなく、心を込めて文字を書こうとする態度が育ちます。



また、互いの作品を鑑賞し合うことで、文字や書写への興味も高まっています。校内に掲示した書き初め展の作品を熱心に見ている児童が多くいました。児童が今まで以上に文字を丁寧に書くことを意識し、書写力がさらに向上していくことを願っています。



学校・家庭・地域で考える 道徳授業地区公開講座

道徳担当

子供たちの心の成長や家庭・学校・地域社会における道徳教育の在り方について、相互の理解を深めることをねらいとし、道徳授業地区公開講座を開催しました。

今年度は「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」をテーマとして、全学級が「港区立小学校道徳副読本 ふるさと～みなと～」を基に、一人一人が伝統や文化の尊重について考えを深めました。クラス内で意見を交換することにより、友達の意見から学ぶ時間が生まれ、子供が主体となって活発に話し合う姿が印象的でした。

講演会では、東京家政学院大学教授 長谷徹先生（元麻布小学校長）を講師としてお招きし、家庭や地域での子供たちの様子や「伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度」をいかに捉え、児童の心を育てていく必要があるのかについての講演や意見交換を行いました。望ましい行動を育むために道徳があり、その行動の習得には段階があって、段階を経ることで正しい行動が習慣化され、さらに今までの体験を基に判断する力も身に付くため、自然と正しい行動ができるようになるというお話がありました。意見交換では、保護者の皆様から日頃の子育てや子供との関わりについて相談があり、講師の先生にアドバイスをいただきながら子供を大切に育てていきたいという思いを共有できた貴重な場となりました。



1 年生「開校記念日」



2 年生「増上寺の豆まき」



3 年生「新しい世界～村岡花子と東洋英和女学校～」



4 年生「花いっぱい運動」



5 年生「ニコニコ学園と
牧野元次郎」



6 年生「江戸城無血開城」

今年度も、道徳授業地区公開講座に、ご参会いただきましてありがとうございました。今後も学校・家庭・地域が連携を図り、道徳教育に取り組んでまいります。御協力のほど、よろしくお願いいたします。